

2017年3月期第2四半期  
決算説明資料

2016年10月26日

 日立化成株式会社

# 16／上実績

(億円)

項目	15／上 実績	16／上 見通し (4月公表値)	16／上 実績	前年 同期比	見通し比
売上収益	2,756	2,650	2,572	93 %	97 %
営業利益	233	230	254	109 %	110 %
当期利益 (親会社帰属)	167	160	168	101 %	105 %
営業利益から その他の収益・費用 を除いた金額	245	230	246	101 %	107 %

為替レート	平均	¥121.80	¥110.00	¥105.29
(1US\$=)	期末	¥119.96	¥110.00	¥101.12

## 機能材料

1,325億円 (前年同期比 95%)

- 電子材料、配線板材料：  
ダイボンディング材料、銅張積層板は、新規案件を獲得し、増加  
封止材は、中国市場向け増加も、為替の影響により減少
- 無機材料：  
負極材は、PC向け需要減等の影響を受けるも、  
環境対応自動車向けが増加し、前年と同水準を維持
- 樹脂材料：  
ディスプレイ用回路接続フィルムは、中国市場を中心とした  
スマートフォン向け増加も、為替の影響等により減少

## 先端部品・システム 1,247億円 (前年同期比 92%)

- 自動車部品：  
樹脂成形品は、新規案件獲得も、熊本地震の影響等により減少  
粉末冶金製品は、新規案件獲得も、為替の影響により減少
- 蓄電デバイス・システム：  
フォークリフト用電池や海外向けの無停電電源装置用電池が増加も、国内新車向けの減少、為替の影響等により減少

# 16 / 上実績 機能材料 売上収益(1)

Hitachi Chemical  
Working On Wonders

売上収益

前年同期比

## 機能材料

1,325 億円

95 %

### 電子材料

440

103

封止材

97

ダイボンディング材料

128

CMPスラリー

91

### 無機材料

114

97

リチウムイオン電池用負極材

101

### 樹脂材料

288

89

ディスプレイ用回路接続フィルム

82

### 配線板材料

352

92

銅張積層板

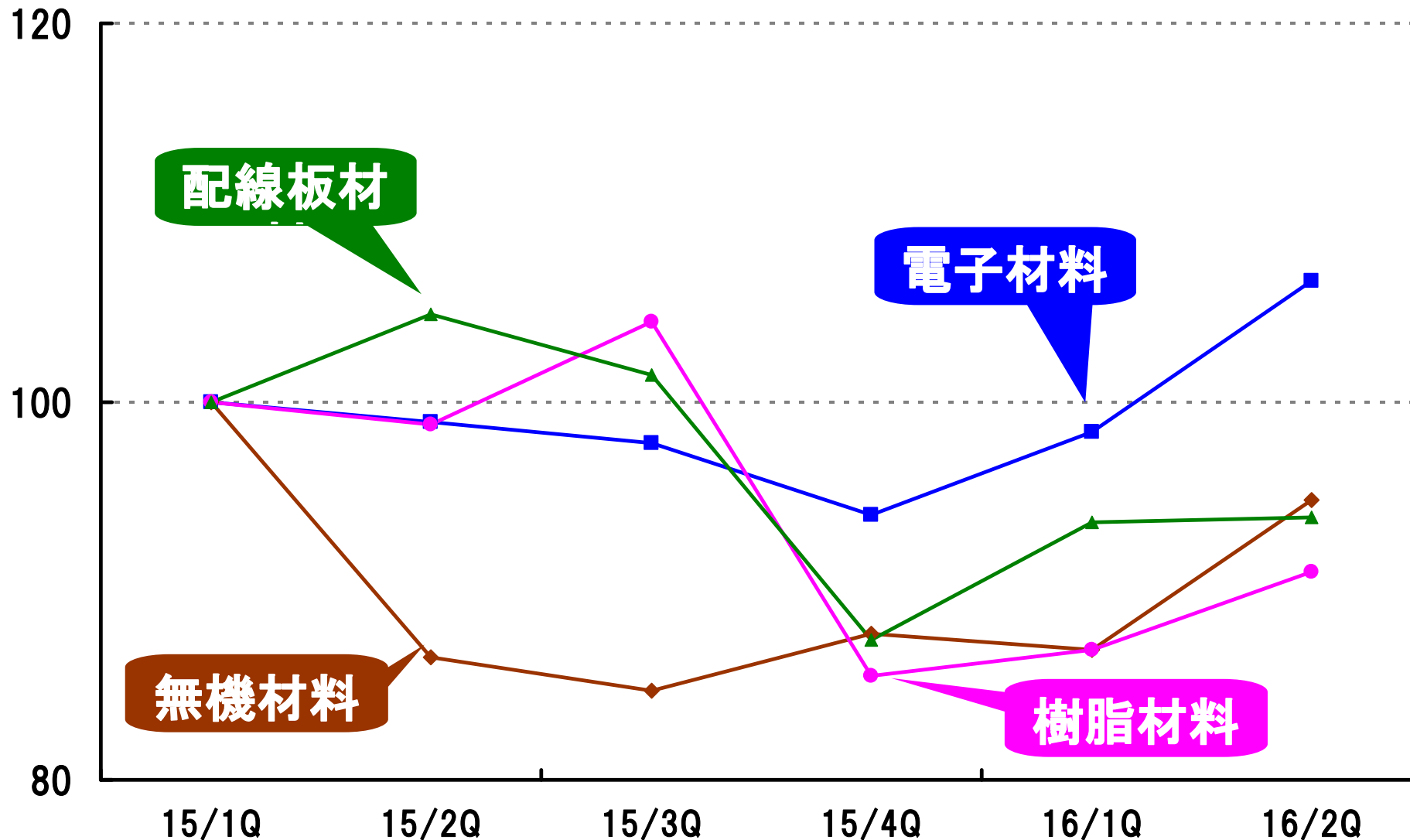
102

感光性フィルム

80

# 16 / 上実績 機能材料 売上収益(2)

対15/1Q指数



# 16 / 上実績 先端部品・システム 売上収益(1)

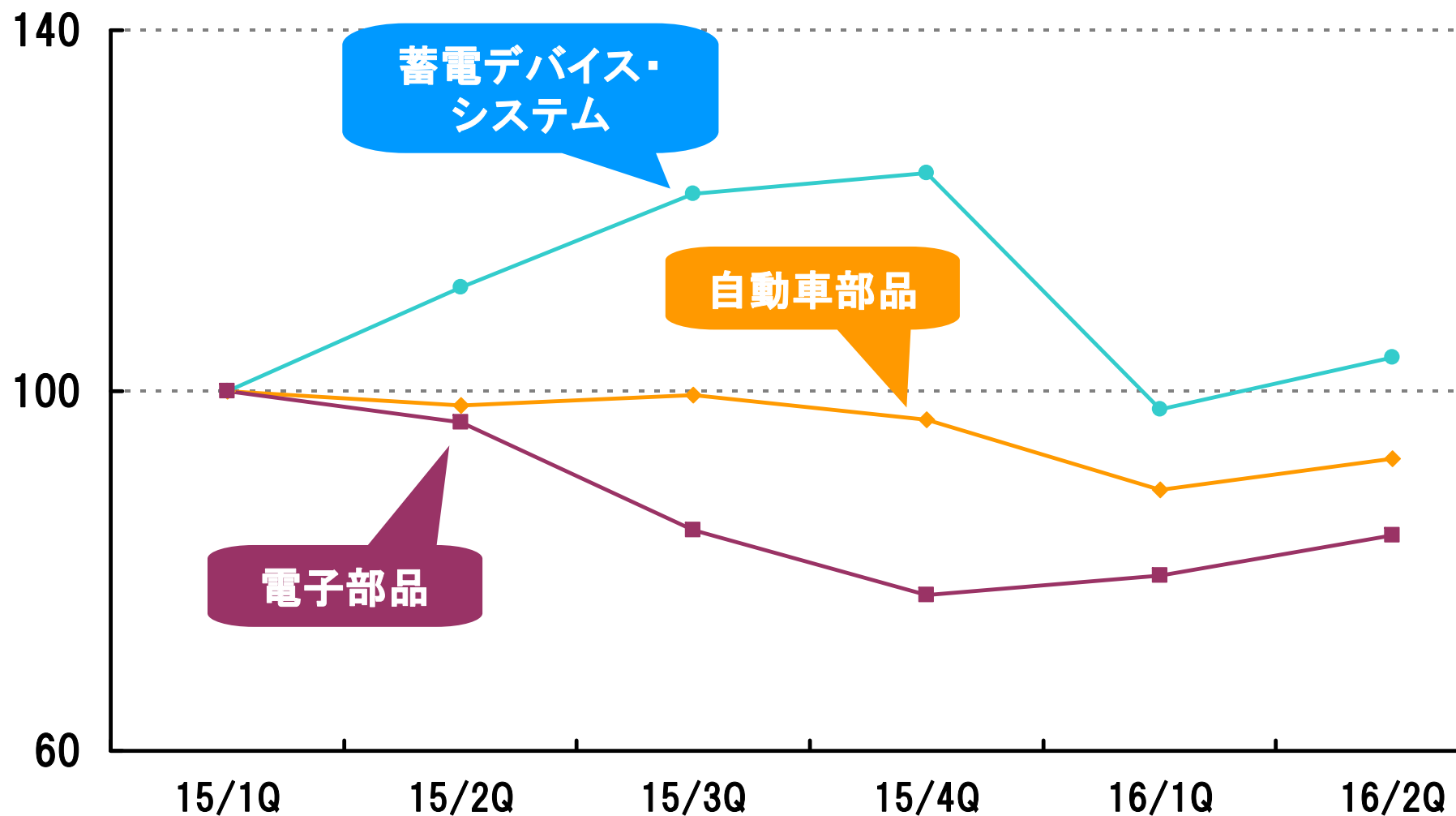
Hitachi Chemical  
Working On Wonders

	売上収益	前年同期比
<b>先端部品・システム</b>	<b>1,247 億円</b>	<b>92 %</b>
自動車部品	583	90
樹脂成形品		88
摩擦材		85
粉末冶金製品		94
<b>蓄電デバイス・システム</b>	<b>466</b>	<b>95</b>
車両用電池		89
産業用電池		100
<b>電子部品</b>	<b>169</b>	<b>83</b>

# 16／上実績 先端部品・システム 売上収益(2)

Hitachi Chemical  
Working On Wonders

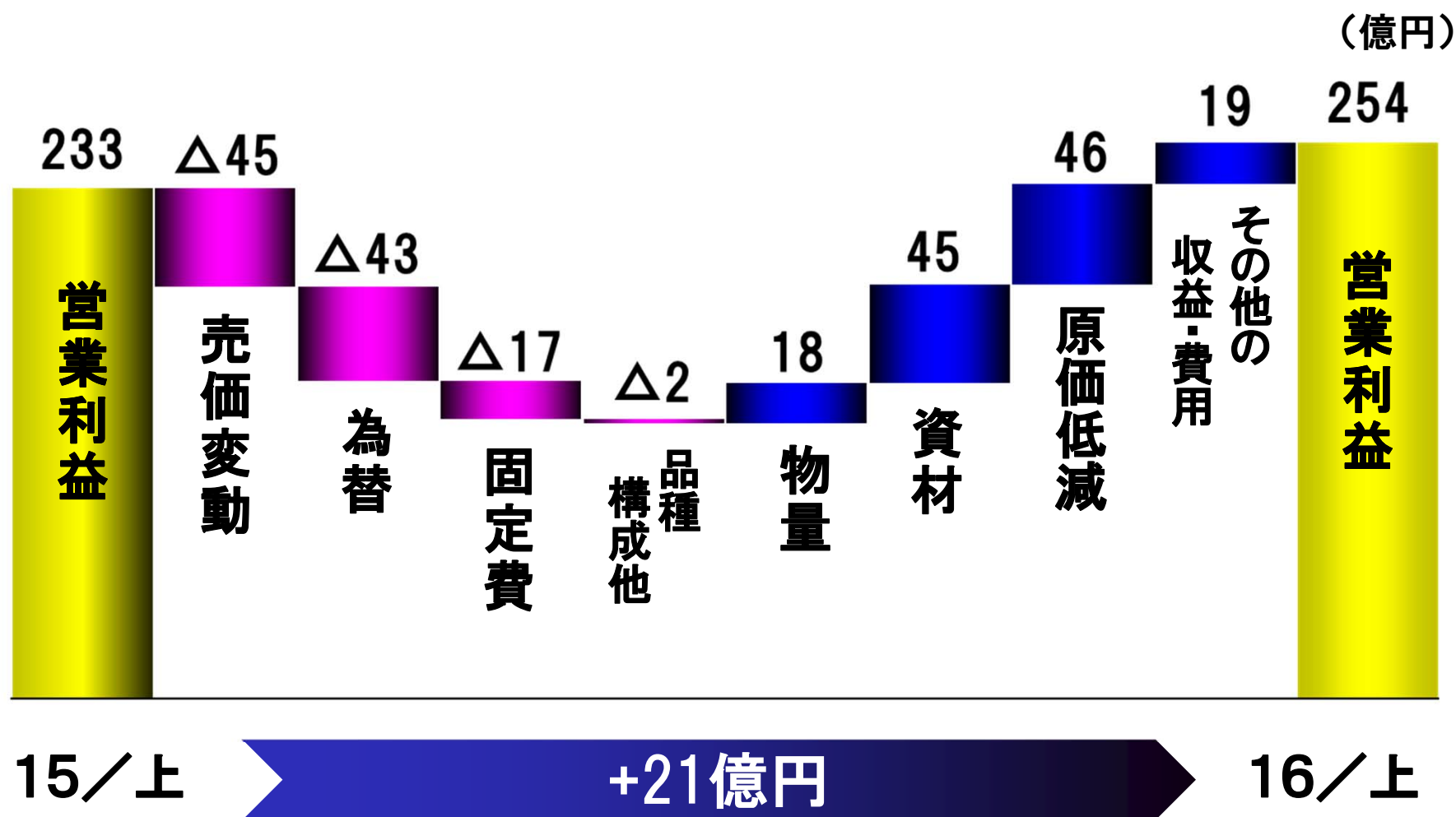
対15/1Q指数





# 営業利益の偏差説明(1)

15/上実績 対 16/上実績



# 営業利益の偏差説明(2) セグメント別

## 15/上実績 対 16/上実績

(億円)

	15/上	物量	売価 変動	為替	資材	原価 低減	固定費	品種構成 他	その他の 収益・費用	16/上
機能材料	200	20	△20	△31	20	28	△6	3	9	223
先端部品 システム	33	△2	△25	△12	25	18	△11	△5	10	31
計	233	18	△45	△43	45	46	△17	△2	19	254

# 16年度業績見通し

(億円)

項目	15年度 実績	16年度見通し		前年度 比	4月 公表比
		4月公表	今回公表		
売上収益	5,465	5,500	5,200	95 %	95 %
営業利益	530	540	500	94 %	93 %
当期利益 (親会社帰属)	385	385	350	91 %	91 %
営業利益から その他の収益・費用 を除いた金額	499	540	510	102 %	94 %

為替レート 平均	¥120.14	¥110.00	¥102.65
(1US\$=) 期末	¥112.68	¥110.00	¥100.00

## 機能材料

2,600億円 (前年同期比 96%)

次世代半導体パッケージや環境対応自動車向け等の新規案件獲得に取り組むも、スマートフォンをはじめとするエレクトロニクス市場に減速感が見られることや、為替の影響等により、下期にかけて減少の見通し

## 先端部品・システム

2,600億円 (前年同期比 94%)

### ●自動車部品

下期は、新規案件の立ち上げにより上期より売上を伸ばす見通しだが、自動車需要は全般的に力強さに欠けるほか、為替の影響等が見込まれる

### ●蓄電デバイス・システム

下期は需要期だが、国内新車向けに例年の勢いが無いほか、為替の影響等により、上期の減少をカバーできない見通し

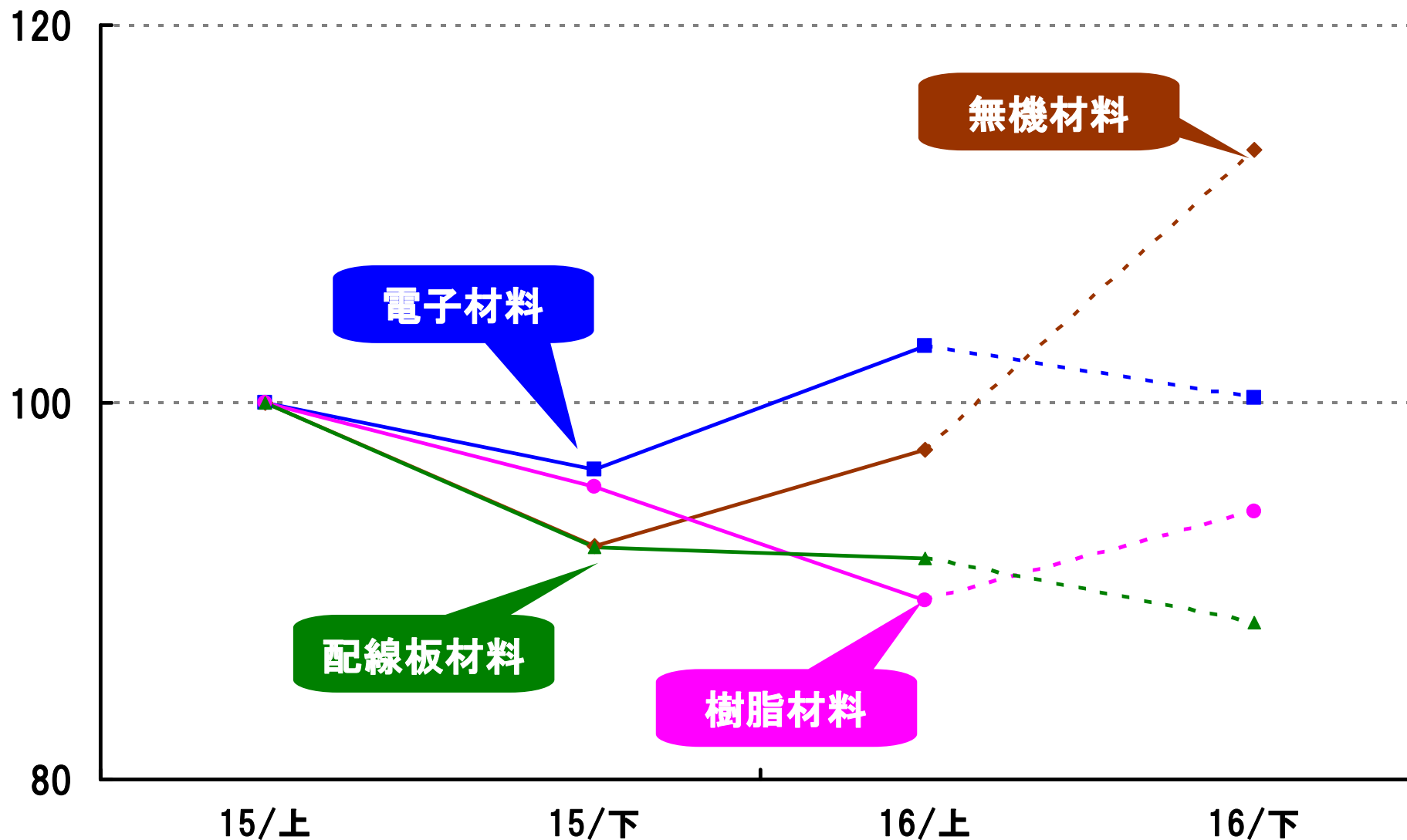
# 16年度見通し 機能材料 売上収益(1)

Hitachi Chemical  
Working On Wonders

	売上収益	前年同期比
<b>機能材料</b>	<b>2,600 億円</b>	<b>96 %</b>
<b>電子材料</b>	<b>868</b>	<b>103</b>
封止材		96
ダイボンディング材料		120
CMPスラリー		98
<b>無機材料</b>	<b>247</b>	<b>110</b>
リチウムイオン電池用負極材		122
<b>樹脂材料</b>	<b>592</b>	<b>94</b>
ディスプレイ用回路接続フィルム		87
<b>配線板材料</b>	<b>691</b>	<b>97</b>
銅張積層板		100
感光性フィルム		86

# 16年度見通し 機能材料 売上収益(2)

対15/上指数



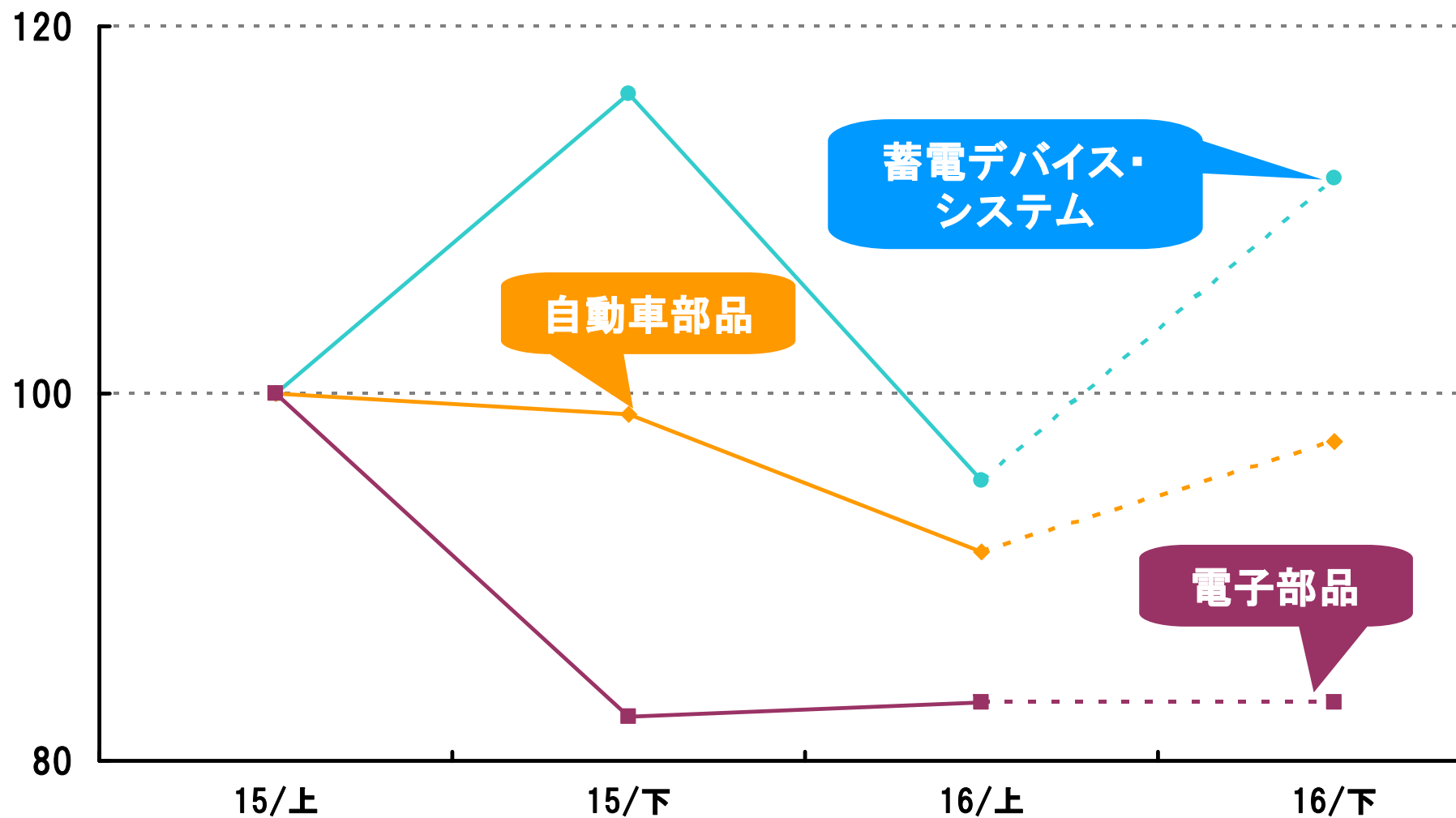
# 16年度見通し 先端部品・システム 売上収益(1)

Hitachi Chemical  
Working On Wonders

	売上収益	前年同期比
<b>先端部品・システム</b>	<b>2,600 億円</b>	<b>94 %</b>
自動車部品	1,205	93
樹脂成形品		93
摩擦材		88
粉末冶金製品		95
<b>蓄電デバイス・システム</b>	<b>1,013</b>	<b>96</b>
車両用電池		88
産業用電池		100
<b>電子部品</b>	<b>338</b>	<b>91</b>

# 16年度見通し 先端部品・システム 売上収益(2)

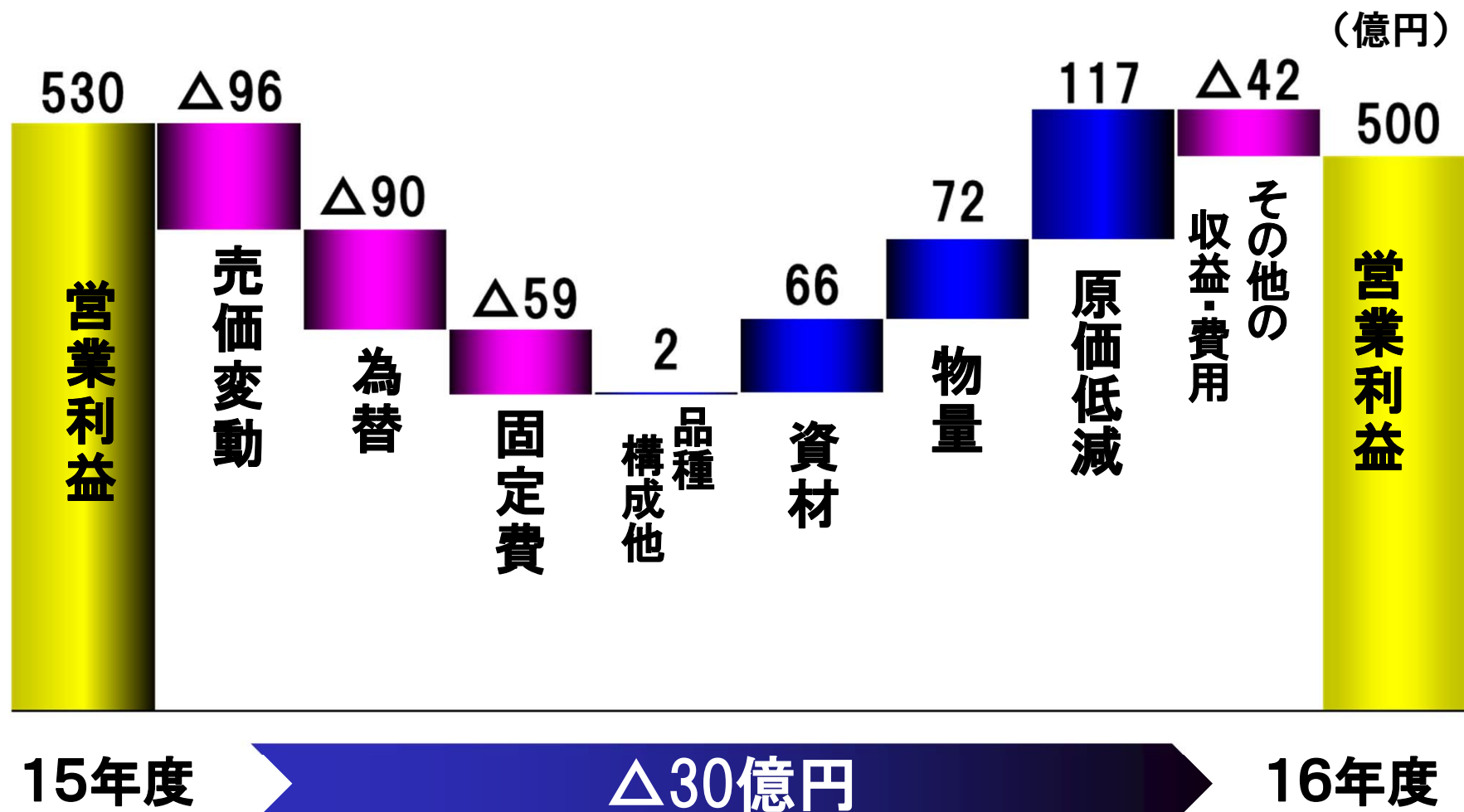
対15/上指数





# 営業利益見通しの偏差説明(1)

## 15年度実績 対 16年度見通し



# 営業利益見通しの偏差説明(2)セグメント別 *Hitachi Chemical* Working On Wonders

## 15年度実績 対 16年度見通し

(億円)

	15年度	物量	売価 変動	為替	資材	原価 低減	固定費	品種構成 他	その他の 収益・費用	16年度
機能材料	387	54	△43	△59	29	68	△29	△2	△5	400
先端部品 システム	143	18	△53	△31	37	49	△30	4	△37	100
計	530	72	△96	△90	66	117	△59	2	△42	500

# 主要材料購入単価推移

(15年度を100とした指数表示)

項目	15年度	16/1Q	16/2Q	16/3Q 見通し
原油(ドバイ)	100	95	95	103
鉛	100	93	88	90
エポキシ	100	100	100	100
PETフィルム	100	100	100	100
MMA	100	94	94	99
ガラスクロス	100	100	100	100
銅箔	100	89	92	95

# *Hitachi Chemical*

## *Working On Wonders*

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料を無断で転載、二次利用することをお断りいたします。

 日立化成株式会社